

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

日本を世界一豊かに。その未来へ心を尽くす一期一会の『いちご』

キャッシュROE
18%以上ROE
15%以上ストック収益比率
60%以上ストック収益固定費力
200%以上

② 中長期の経営戦略

1. サステナブルインフラ企業への進化

心築事業で培ったコア・コンピタンスを活かし、不動産市況に左右されにくい持続性の高い収益基盤を構築

3. ハード・ソフト融合の推進

心築とITの融合により、入居テナント・利用者の健康と快適性を向上させるインフラ機能を実現

2. クリーンエネルギー事業の展開

太陽光発電所・風力発電所を北海道から沖縄まで全国で開発・運営。クライメート・ポジティブを維持

4. 100年不動産の実現

心を込めた丁寧な価値向上を図り、現存不動産に新しい価値を創造し日本における100年不動産を目指す

③ 対処すべき課題

① サステナブル社会への対応

- RE100達成。2024年8月末時点で100%再生可能エネルギーへの切り替え完了、2026年4月認定取得
- CDP気候変動Aリスト企業を3期連続達成。水セキュリティAリスト企業を2期連続達成
- クライメート・ポジティブ維持により、削減CO2量が消費CO2量を上回る状態を継続

② 安定収益基盤の構築

- ストック収益比率60%以上を目標に、賃貸・売電収益などの継続的収入を強化
- ストック収益固定費カバー率200%以上で、安定した採算性を確保

③ 顧客価値の向上

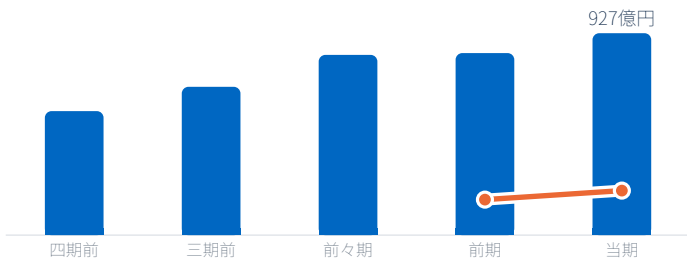
- 入居テナント・利用者の生活ニーズを発掘し、オンリーワンの対応を実現する

面接で使えるポイント

- いちご2030ビジョンで、サステナブルインフラ企業として不動産市況に左右されない持続性の高い事業展開を推進している
- RE100達成、クライメート・ポジティブ維持など、環境課題解決に真摯に向き合い、社会価値の向上を実現
- 心築という独自の価値向上手法とITの融合により、顧客ニーズに的確に対応し、100年不動産を目指している

証券コード 2337

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
927億円営業利益率
22.1%財務健康度
56点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 61.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,165万円

不動産業内 14位/130社

平均年齢
43.6歳

不動産業内 23位/131社

平均勤続
7.0年

不動産業内 55位/131社

女性管理職
40.0%

不動産業内 3位/76社

男性育休
-（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: いちご株式会社他グループ会社 3 社様から地方創生応援税制（企業

